

会 議 録

平成23年2月7日調整

審議会等名	第2回 三条市子ども読書活動推進計画策定委員会		
公開の別	公開		
開催日時	平成23年1月28日(金) 午後2時～4時30分		
開催場所	三条市立図書館2階 視聴覚室	傍聴者	無
出席者氏名	出席委員 宮島委員、小林委員、五十嵐委員、田村委員、		
	高橋委員、六原委員、太向委員、滝澤委員		
	事務局 金子課長、長谷川主査、三巻主任		
	報道機関 無		
議 題	1 第2次三条市子ども読書活動推進計画(案)について 2 その他		
発言者	発言内容等		
事務局	これより、第2回第2次三条市子ども読書活動推進計画策定委員会を開催したい。 それでは、宮島会長お願いしたい。		
宮島会長	それでは、議題に沿って始めたい。 「(1) 第2次三条市子ども読書活動推進計画(案)について」事務局より説明をお願いしたい。		
事務局	委員の皆様には事前に「第2次三条市子ども読書活動推進計画(案)」を送らせていただき、目を通していただいたと思うが、この計画案は、短期間の中、作業部会の宮島会長、六原副会長、五十嵐委員、滝澤委員にご苦労いただいて、計画案を策定していただいた。 今後のスケジュールとしては、今日の策定委員会を経て、2月16日から3月9日まで市民の皆様のご意見をいただく「パブリックコメント」を実施する。ここでのご意見を基に、事務局で必要に応じ修正を行い、3月の末の第3回策定委員会で、ご審議いただき、計画策定となる。 それでは、計画案の説明に入る前に、ご苦労いただいた作業部会の皆様に、策定にあたって計画案に対する思いについて、お一人ずつ一言お願いしたいと思う。では、まず宮島会長からお願いしたい。		

宮島会長	作業部会は一言で言って大変だったが、楽しかった。こんなに子どもの読書について考えたことはなかった。初めは手探りだったが、皆さんと知恵を絞らだして作り出した。三条らしいものができたと思う。ご審議いただき、いいものにしていきたい。
六原副会長	第1次の三条市子ども読書活動推進計画もメンバーだった。その5年後にこうして、また、第2次の計画を作るチャンスをいただき感謝している。先回の第1回の策定員会でそれぞれの立場での意見をいただいたものをこの中に入れたいと思い、役所色を削って、自分たちみんなの気持ちを込めて作らせていただいた。苦しかったが、楽しかった。ぜひ、見ていただいて皆さんの思いが込められているか審議していただき、子どもたちのための計画にしたい。
五十嵐委員	みなさんの思いを込めた言葉やアイデアで、役に立つもの、分かりやすい表現に配慮した。皆さんで楽しく一生懸命作った。委員の皆さんの思いがこもった計画案になっていると思う。
滝澤委員	3人の委員の方にひっぱってもらい、感謝している。図書館の立場としてこの計画をサポートしていきたいと思っている。いろんな人に読んで計画を推進していけたらと思う。
事務局	<p>ありがとうございました。では、計画案の説明に入りたい。第1回の策定委員会のあとに皆さんにいただいたご意見で、読書に親しむ環境づくりや、イクメンなど父親を取り組めないかというものがあつた。それらをベースとして、第1回作業部会で話し合い、市民にとって分かりやすいものを目指した。イラストや体系図などで一目でわかるものを取り入れて、分かりやすいものを目指して作成した。</p> <p>それでは、1ページの「第1部 第2次三条子ども読書活動推進計画の策定にあたって」の「計画策定の目的」からですが、まず、訂正として、表題に「市」が抜けておりました。「三条」と「子ども」の間に「市」を入れていただきたい。前回「計画の趣旨」としていたが、今回は「計画の目的」と変えた。やわらかい内容を心がけ、漢字ばかりがつかないような表現にした。また、前回は文の中に国や県の動きを盛り込んでいたが、今回は次ページに表にまとめ見やすくし、語句の説明を2点させていただいた。読ませていただく。 (1ページ、2ページを読む)</p>
宮島会長	事務局の説明についてご意見をお願いしたい。
太向委員	3ページと1ページで、「家庭・地域・学校・図書館等」というところの「等」が1ページでは学校に3ページでは図書館についている。これは、統一した方がいいのではないかな。
事務局	3ページに統一させていただく。

田村委員	先回の策定委員会でもお話ししたが、学校等では保育所や幼稚園は連想しにくくわかりにくい。
六原副会長	前回、田村委員から話があった、保育所では日常的に絵本の読み聞かせなどを行っているということは、中の方に盛り込んである。
事務局	他の市だと、語句の説明をしているところがある。
宮島会長	では、文の下に、学校等とは学校、保育所、幼稚園を含むと注意が記してはどうか。
事務局	そうさせてもらう。
小林委員	先になるが、4ページの「読育」の語句説明と、表紙の「本で育む生きる力」が変わらない。もっと、インパクトのあるものがないのではないか。
宮島会長	この、表題は、かなり苦勞して決めたものだが。
事務局	<p>では、それについては後ほどおねがいすることにしたい。では、3ページの基本方針についてだが、ここも、最初「〇〇の推進」「連携」としていたが、委員のみなさんに練ってもらってこれから読ませてもらうような言葉になった。</p> <p>(基本方針を読む)</p> <p>これらを表す、全体図をとのことで、次ページに作成した。丸い輪の中で、三条市は図書館を真ん中に置きたいということで、真ん中に図書館がある。吹き出しが、後ほど説明させてもらうが、それぞれの取組になっている。青い矢印のところ、図書館のサービスを書かせてもらった。輪の中でそれぞれ「情報発信」「連携」していくことを表した。</p>
六原副会長	この図は、概要版に入れることも考えて作ったものである。
事務局	概要版はA3の見開きで全戸配布する予定である。
宮島会長	事務局の説明についてご意見をお願いしたい。
太向館長	私は図書館の人間なので分かるが、「スクールパック」などは一般の人は何の事かと思うのではないか。「朝読」も分かりにくい。いくつか、語句の説明が必要ではないか。
高橋委員	学校からのお便りでは「朝読」ではなく、「朝読書」となっていると思う。
小林委員	学校では、家庭への配布物では「朝読書」としている。
事務局	では、「朝読書」とします。語句説明をどこかでした方がいいのか。
六原副会長	後ろの図書館の方策のところ載ってないのか。
事務局	今回、すでに実績としてやってきたことは載せていない。
宮島会長	具体的ではなく、一般の人でもわかる言葉にしたらどうか。貸出とか。
事務局	「ブックスタート」も分からないかもしれない。

田村委員	私も「ブックスタート」については先回確認した。啓蒙という意味からすると、「こういうものもあります。」とするのも必要ではないかと思う。
五十嵐委員	体系図の裏が白紙なので、ここに用語説明をしてもいいのではないか。
宮島会長	そのようにお願いします。では、5ページからの説明をお願いしたい。
事務局	<p>ここでも、体系図のキャッチをそのまま、方策のタイトルにさせてもらった。</p> <p>(5ページから11ページまで読む)</p> <p>5ページの家庭では、他市では「ノーテレビデー」を使っているところもあるが、三条市ではこのような表現にさせていただいた。先回、小林委員から、「子どもに読書をさせようとするなら、まず大人が読書をしている姿を見せなくてはいけない。」とおっしゃっていたのを盛り込んだつもりだ。</p> <p>6ページの地域は、具体的な数字を上げさせていただいた。ボランティアの活用も取組に入れた。また、「体感」という言葉が出てくるが、これは本の世界や、楽しさを「体で感じる」ということで、「体感」という言葉を用いている。</p> <p>7ページの保育・園、幼稚園では、先程も話に出たが、先回の委員会で田村委員から、保育所では日常的に子どもに絵本を読んでいるという話があったので、その話を盛り込んでいる。</p> <p>8ページの学校の中で、新たな取組として「家庭への発信」というのがあるが、これは、市立図書館の行事や図書のご案内をデータで作成し、それを学校に送信し、学校の「おたより」に掲載してもらうことで図書館の情報を家庭に発信するというものである。すでに、1月12日の校長会で図書館長から説明とお願いに行ってもらっており、新年度の4月から実施する予定になっている。見本として、本日お配りした資料にあるので、ご覧いただきたい。</p> <p>10ページの図書館だが、お配りした緑色の資料をご覧いただきたい。1月から毎月23日の「さんじょう親子読書の日」に、「こども読書相談窓口」を設け、「さんじょう親子読書の日」のPRと、子どもの読書の推進を図っていきたいと考えている。また、現在、子どもも大人も同じ図書館利用カードであるが、今回この計画策定にあたって、子ども専用の利用カードを作成し、子どもたちの図書館の利用に繋がりたいと考えている。</p>
宮島会長	1番から順番に審議していきたい。気になるところや問題点など挙げていただきたい。
五十嵐委員	5ページにもあるが、「取組」は名詞の場合は送り仮名はいらないが、「取組む」となると送り仮名がいる。その点、統一してもらいたい。
事務局	修正したい。

六原副会長	小林委員が先回、「大人が読書をしている姿を子どもに見せることが大切」といっていたことを、「家庭」の中にも入れたいと考え、取組の中に入れさせていただいた。
宮島会長	「願い」というもので、読書は強制できない。そのため、この家庭での取組ははずせないと考えた。
高橋委員	親が本を読むのは、子どもが寝てからになるのではないか。
宮島会長	家庭によってはそうかもしれない。「呼びかけ」にしてある。反感を感じたりするか。
高橋委員	それはないと思う。
宮島委員	「家庭」に関して他にないか。では、「地域」についてお願いしたい。
六原副会長	私は、読み聞かせのボランティアをしているが、この5年間で「さんじょう親子読書の日」の認知度を上げることに使命感を感じている。図書館前に「旗」を立てるくらいのことも図書館には考えていただき、ぜひ、協力をお願いしたい。
田村委員長	どんないいことをしても、知ってもらわないと駄目だ。
宮島会長	発信していかななくてはならない。ぜひ、ボランティアを活用してもらいたい。また、地域差が同じ三条にあってはならない。地域に根差したボランティア活動を行っていききたい。 (3)の保育所・園、学校について、田村委員いかがか。
田村委員	本当にいい。キャッチコピーのタイトルも、「取組・成果・課題」も良くまとめていただいた。中段の「さらに～」のところは良くぞ書いてくださったという感じだ。私の保育所でも「読んで、読んで」と子どもたちが来る。そんな時は、全員に読み聞かせるのではなく、待たせてでも、一人ひとり、膝に抱きその子だけの読み聞かせを行っている。先日読んだ中に、小学5年生までは本の読み聞かせが大事だと書いてあった。保育所は0歳児までいる。絵本というのはいい。動画のように動かないのがいい。車のタイヤも、絵本のタイヤは動かないが、子どもは絵本を持って絵本を動かす。情緒を育むには欠かせないものだ。絵本は高いものだから、市立図書館の団体貸出は大変ありがたい。毎週100冊借り、利用させていただいている。
事務局	取組の中に「家庭へに発信」として「おたより」で読書の大切さを発信するとしたが、いかがか。
田村委員	「生きる力」というのもいいが、保育所にはそぐわない感じだ。
六原副会長	自分としては「生きる力」というよりは「死なない力」という意味を込めている。感情が死ぬことも「死ぬこと」読書で、「死なない力」を育てて欲しい。

宮島委員	それでは、「学校」について、小林委員いかがか。
小林委員	「学校」だけ2ページに渡っているが、アンケートなどの数字を省いてしまえば、他と同じ1ページになるのではないか。数字神話ではないが、大事なものは数字ではなく、中身だと思う。
宮島会長	数字があると、分かりやすくいい。もちろん中身が大切なので今後もそれぞれ取組んで行って欲しい。
田村委員	7ページの「取組・成果・課題」の2行目の「読書活動」に前に「絵本の読み聞かせなどの」を入れて欲しい。
六原副会長	その次の「重要」というのも、堅く感じる。「大切」に修正して欲しい。
宮島会長	では、12ページ以降の説明をお願いしたい。
事務局	まず、「第3部 第2次三条市子ども読書活動推進計画の取組」が抜けていたので、訂正させていただく。ここでは、成長に合わせた読育のアプローチということで作成してある。 16ページの進捗管理では、読書という性質上、目標値は設定していない。 (12ページ以降読む)
太向委員	7歳と13歳で「図書館」が出てくるが、これは「学校図書館」もあるので、「市立図書館」に統一した方がいい。
五十嵐委員	数字を入れると、数字に囚われてしまう。
事務局	アンケートで数字を確認するというよりは、図書館などでの統計の数字で確認できるようにした。10、11の項目は、中間評価として25年度と最終の27年度に幼児の保護者に対して簡単なアンケートをお願いしたいと考えている。
宮島会長	13の図書基準というのも分からないので、語句説明をお願いしたい。
小林委員	これはなくてもいいのではないか。 図書の数があればいい訳ではない。古い図書を処分すれば、数は少なくなり、図書基準を満たさないこともある。
事務局	学校図書館の図書の充実を客観的に確認するためにあげたものである。
宮島会長	最初に、小林委員からタイトルの「本で育む生きる力」について意見があったがいかがか。
小林委員	みなさんの話を十分理解できた。
事務局	「読育」という言葉は、良く知られているか。みなさんにご存じか。
宮島会長	それほど良く聞く言葉ではない。
事務局	他でも使っているかもしれないが、三条市が今年子育て創生事業の中で使ったものである。

六原副会長	三条市オリジナルと記載したらどうか。
事務局	オリジナルとまではいかない。
宮島会長	一般的に言われているのと、発信しているのでは違ってくる。
太向委員	三条市が推進しているなどはどうか。
五十嵐委員	三条市が推進しているこれらの事業を「読育」といいます。というのはどうか。
宮島会長	事務局で検討してみしてほしい。
六原副会長	本の裏によく、マークがあることがある。この冊子にも、裏表紙に「23日はさんじょ親子読書の日」というのをに入れて欲しい。
滝澤委員	図書館の職員の名札に入れようと作ったものがある。三条市は果物の町なので、桃をデザインしたもの。今、現物をお持ちする。
事務局	では、これでいいか。
六原副会長	これでなくてもいいが、何かマークを考えて欲しい。
宮島会長	他に何かないか。 (なし) 事務局から、連絡事項等お願いしたい。
事務局	先程説明したが、2月16日から3月9日までパブリックコメント行う。その後、いただいた意見を反映し、計画策定となる。ついては、3月に第3回の策定委員会を行いたいので、日程を決めさせていただきたい。 (意見) では、3月23日水曜日午後2時からとさせていただきます。
宮島会長	以上で、第2回 三条市子ども読書活動推進計画策定委員会を閉会する。